

名前

青野 透

専門分野

高等教育論

会議での役割

議論研究者



A班の提言へのコメント・意見



- なぜ「何かをしたい」と思うのだろうか、そもそも論を考えさせてくれる。
- 図にある、“本人”を、身体障害者や高齢者と置き換えてみると、問題の新しさが見えてくる。



B班の提言へのコメント・意見



- 自己肯定感、共通理解、およびコーディネートがキーワードになっていることが特徴的。
- 特に、コーディネートは、コーディネーターに徹するという人がなかなかいないだけに、重要だと気づかされる。



C班の提言へのコメント・意見



- 金沢ならではの・・・そこから「公民館」を発想していることが、斬新でかつ、説得力がある。市の協力が不可欠であることが実感出来る。（保健所なら、想像の範囲内だったけれど）
- 退職教員には、私のような大学教員も是非とも仲間に入れて欲しい（あまりフットワークは軽くないけれど）。



D班の提言へのコメント・意見



●生きる意味を見つけるための特区という発想は金沢でなら見つけやすい、というメッセージになる。適度に都会、適度に現代的な町の尺度として、自閉症者の住みやすさという提案も出来そう。

●だからこそ、自閉症者の実態調査は、とても大事になってくる。



E班の提言へのコメント・意見



●克服した本人、家族の体験談に注目したい。
長い目で見ること、試行錯誤そのものの意味
について、光が当てられることを期待したい。

●支援する人を育てることが、特に重要である
ことを踏まえ、どのように育てるかの問題提起
と受けとめたい。



F班の提言へのコメント・意見



- コミュニケーション能力偏重社会の中で、流れに抗していくシンボルとして、自閉症に優しい会社モデルを、具体的に提示しようとするところが優れている。
- 「金沢でいちばん大切にしたい会社」をそのまま「日本でいちばん大切にしたい会社」にしてみたい。